「Haiku Culture in the World 世界の俳句文化」をテーマに

チャンプの会「英語を共に学ぶ会」例会開催

片桐　美徳

チャンプの会会員

一昨年２０１９年８月に埼玉大学同期会に出席した際に、教育者で短歌や俳句で活躍している福田淑子氏から９月に開催される創立２０周年記念第１０回世界俳句協会大会の紹介があった。日本では学校教育でいわゆる俳句を学んだものの、日頃接する機会はなかった。世界俳句とは何か、どんな世界が展開しているのかに興味が湧き、大会に参加した。この国際大会で目から鱗が落ちる経験をしたことを、チャンプの会（CHAMP）「英語を共に学ぶ会」メンバーに今年１月に英語で紹介した。

１．「英語を共に学ぶ会」２３０回例会２０２１年１月２３日開催

１９９８年に有志で設立されたCHAMP Cross Hands Association of Mature Persons（チャンプの会）は、２１世紀を活動的に生きる成熟した年代の人たちが作った組織で、貴重な経験と豊富な知識をお互いの自己啓発に、更には社会の役に立てることを目標としている。「英語を共に学ぶ会」は１９９９年発足以来、レポーター役の提供する資料を輪読し基本英語で意見交換する２時間の例会で８月を除き毎月開催している。

コロナ禍での例会はＺＯＯＭオンラインで進行した。１７名参加のうち１５名が会員で、会としては初めてアメリカ人夫妻がコロラド州からゲストで加わった。

英文議事は以下の通りである。

CHAMP English Study Group Monthly Meeting　January 23, 2021

Theme: Haiku Culture in the World世界の俳句文化

1. The outline of the 10th World Haiku Association Conference: 20th Anniversary, Sep. 13-15, 2019

“Haiku: its regional and global characteristics” （俳句、その地域性と世界性）

1. Understanding the missions of NPO World Haiku Association
2. Director Ban’ya Natsuishi's keynote speech on haiku culture in the world

“Reflections on Twenty Years of World Haiku”（世界俳句の２０年についての考察）

1. Reading Haiku from World Haiku Conference Anthology 2019
2. Reading the winners’ haiku of the 3rd World Haiku Association Haiku Contest (English & Japanese)
3. Workshop: Members’ & guests’ original haiku reading 自作俳句を詠む

The theme: "U.S. Presidential Election（アメリカ大統領選挙）"

Reporter：Katagiri

1. 「創立２０周年記念第１０回世界俳句協会大会」概要説明

夏石番矢理事長は、”World Haiku is a small symphony of 3-line poems.”(世界俳句は３行詩の小さなシンフォニー)と描いていらっしゃる。とても象徴的で印象に残るメッセージである。

大会テーマは、”Haiku: its regional and global characteristics”（俳句、その地域性と世界性）である。１日目に「松尾芭蕉の「物我一致」による多様性・多文化の世界観」（日本）、「和風　漢俳を起こす」（中国）、「ネパールにおける俳句」（ネパール）、「アラビア語詩における俳句と翻訳」（モロッコ、イラク）、２日目には「ドイツ哲学と俳句」（ドイツ）、「アメリカ現代詩への俳句の影響」（アメリカ）、「いじめと俳句（自分を救う文字列表現の勧め）」（日本）、「英語俳句の詠み方」（アメリカ）、「ひそやかな大地の声」（アメリカ）、「芭蕉とともに歩む」（アメリカ）、各国、言語圏で育まれている俳句文化の地域的特色について興味深い発表があった。

２日目の芭蕉の俳句カルタ大会では、チームに分かれて「俳句かるたミックス」英語版カルタ取りゲームで盛り上がった。外国の方々が芭蕉の句の知識が豊富であると認識させられた。

**　　　　　**

Top(上句) in red Middle(中句)in yellow 　Lower(下句)in green

俳句実作ワークショップでは、私は多国籍グループに入り、短時間のうちに３テーマで句作（苦作）した経験を話した。

２．ＮＰＯ世界俳句協会World Haiku Associationの使命の理解

ミッション英文６項目を３人が交代で読み上げ、協会の目指すことを確認した。

1. 夏石番矢理事長の基調講演（英文）による世界俳句２０年の経緯への理解

世界に俳句文化がどのように広がってきたか、基調講演英文“Reflections on Twenty Years of World Haiku”（世界俳句の２０年についての考察）を輪読しながら理解を深めた。ポルトガル語やフランス語の句を含むパラグラフを素養のある人が原語を含めて読み、世界俳句の国際性を共有した。

1. 『世界俳句コンファレンス・アンソロジー２０１９』収録の７名（日本２名、外国５名）の俳句２句の朗詠（日本語・英語）

アンソロジー英語序文を２名交代で読み、発行趣旨を共有し理解した。７人が選び会場で詠んだアンソロジー掲載の２句を交代で英語と日本語で読んだ。

1. 「第３回世界俳句協会俳句コンテスト」入賞作・佳作の朗詠（日本語・英語）

入賞作そして佳作を交代で英語と日本語で朗読した。

1. 自作俳句（日本語・英訳）発表

開催日直前の１月２０日バイデン新大統領就任を踏まえて、テーマ を「アメリカ大統領選挙U.S. Presidential Election」にして、参加者が俳句をつくり英訳することに取り組んだ。事前送付のアンソロジー抜粋７人の作と俳句大会入賞作・佳作）の世界俳句に触れることで世界の人たちが自由に俳句を創作していることに刺激を受けたことだろう。伝えたいエッセンスを絞り出し、言葉を選び吟味して俳句をつくり、英語で表現する難しさや面白さを味わう、そこが狙いだった。

日頃俳句に接する機会のない参加者が挑戦してくれるか不安だったが、前日までにほぼ全員から句が届き、アンソロジーに整理してメール配信した。

先ず私から自作を詠み、順に自作句を詠み、仲間の作句を互いに鑑賞し合った。アメリカ・コロラド州のご婦人からも２つ投句があり、英語、日本語で詠んでもらえた。

次に、英訳もすべて参加者による句をいくつか紹介する。

1. 頂上を/目指してみたが/まだ遥か

　 Toward the summit/Trying to reach/Still far away 　　　　　　　　　Toyu (Y.K.)

1. 彼の国で/リーダー選ばれし/春を待つ

In that country/A New leader was chosen/The world awaits spring 　Kiyo (K.I.)

1. 叫び　走る/民　悲し　資本主義/お前もか

Cry running/People’s sorrow/ Capitalism, you too? 　　　　　　　Teiyu (M.M.)

1. 誓いしや/星条旗/一つの国

Ever pledged/To the Flag/One Nation 　　　　　　　　　　Saburo (S.H.)

1. 初暦/バイデン　ハリスの/開く日々

New Year’s calendar/ Starting a new era/ With Biden and Harris 　　Konanshi (M.M)

1. 就任式/世界に平和を/寒明けに

Inauguration/Spread peace over the world/Dawn break from the coldest 　 (N.Y.)

1. 主（ぬし）去りて/民の心に/春の風

Tyrant gone/People blessed with/Spring breeze 　　　　　　　　　Eishi (H.N.)

1. Amanda’s fingers/Punctuating words/Glittering of hope 　　　　　　　(M.A.)

　　　アマンダの指先/言葉を強調し/希望の光、輝く

３．例会を終えて

〇　セッションで紹介された世界各国の人たちの俳句は面白かったですね。外国の日本料理店で、これが日本料理と言えるか、というものを出された時と同じ感覚でした。日本の俳壇ではまだ「季語」が重視され季語のないものは俳句にあらずというのが主流ですが、世界はとうにそれを超えて自由闊達に俳句を楽しんでいるようです。国際化というものはそういうことなのでしょうね。（M.M.）

〇　Haiku is truly beautiful in its concise form of expressing an experienced moment.　Thanks to the influence of today’s gathering, I might take up Haiku to write a concise

diary! （M.A.）

〇　俳句が日本の文化として、世界各地に広まっていることを知り、よい勉強になりました。季語や定型にこだわらず俳句らしさを出すのは、やはり難しいですね。私はあまり深く考えずに、できるだけ言葉数を少なくするよう心がけたつもりです。（H.N.）

〇俳句のミーティングに出てとても面白かったです。プログラムは俳句のれきしとせかいてきなひろがりをせつめいでした。日本語とえい語でメンバーの俳句を聞いたのはよかったです。スティーブと私とはさんかして楽しかったです。

(Heidi アメリカ・コロラド州在住、日本語勉強中、原文のまま)

約２時間ではあったが、世界俳句への関心が参加者に芽生えて興味が少し高まったことを実感した。世界の国の多くの人が世界俳句を大切に育んでいることに感動し、世界俳句を通じて日米間交流の場にもなった。

報告を終えるにあたり、世界俳句協会大会の基調講演原稿・世界俳句コンファレンス２０１９からの引用利用を快諾してくださったＮＰＯ世界俳句協会理事長の夏石番矢氏の御厚意により、広がる世界俳句の世界を知る機会を共有できた、心より感謝申し上げる。